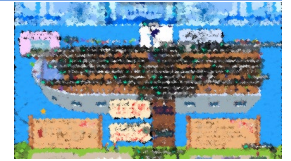


第 11 回アジア・スマートシティ会議 (ASCC) を開催！ ～持続可能な都市づくりに向けた VLR の活用～



<Y-PORT 事業について>

横浜市は都市づくりの経験と企業の技術・ノウハウを活用し、新興国等の都市課題解決の支援と企業の海外展開支援を目的として、「横浜の資源・技術を活用した公民連携による国際技術協力 (Y-PORT 事業)」に取り組んでいます。

1. アジア・スマートシティ会議の概要

SDGs 未来都市の実現を目指す横浜市では、横浜のシティプロモーションや市内企業の海外展開支援の一環として、平成 24 年から「アジア・スマートシティ会議」を開催しています。

第 11 回目となる今回は、「持続可能な成長を実現する公民連携による新たな都市づくり～脱炭素、SDGs/VLR、スマートシティ～」をメインテーマに掲げ、2022 年 11 月 24 日(木)、25 日(金)にオンラインで開催しました。2 日間にわたる会議では、政府機関、企業、海外都市、国際機関、学術機関等の多様な機関から約 730 名が参加し、活発な情報交換を行いました。

2. SDGs/VLR/ウェルビーイング指標セッションの概要

持続可能な都市づくりのためには、ゼロ・カーボンの達成、SDGs/VLR といった都市評価方法を活かした取組、変化する社会的ニーズに応じていくスマートシティの推進などを公民連携によって実現することが重要です。そのため、本セッションでは、いま社会が求めている都市づくりに関して知見やノウハウ、ベストプラクティスを共有しました。

SDGs やパリ協定を実現するためには、取り組むべき施策に優先順位を付ける必要があります。SDGs への関心の高まりとともに、世界中の 100 を超える地方自治体が持続可能な開発目標に向けた取組みの進捗状況に関する自主的レビューである VLR (Voluntary Local Review) を公開してい

ます。VLR は、地域の事業者の参加と地域の新たな価値等の創出を促進するための枠組みとして機能することや、都市の持続可能性を高めることが期待されており、日本国政府もこうした動きに対して支援の意向を示しています。

こうした背景から、本セッションでは、自治体や民間企業の SDGs 達成に向けた取り組みはどのように評価・レビューされているのか、また、都市の現状を評価・レビューすることをどのようなアクションに、どのようなアプローチで繋げていくことが都市の持続可能な発展を実現するのか等について議論されました。

3. ダナン市 SDGs/VLR の取り組みの紹介

上記のセッションでは、横浜市と 2013 年 4 月に持続可能な都市の発展に向けた技術協力に関する覚書を交わして以来、都市間協力を続けているベトナム国ダナン市の計画投資局副局長 (Le Minh Tuong 氏) から以下に示すとおりダナン市の概要、持続可能な開発に関する現状及び目標、横浜市との協力、ダナン市への投資機会についてご発表いただきました。さらに登壇者との議論で Tuong 氏は、ダナン市の持続可能な開発目標の評価・レビューをさらに推進し VLR として発信するために国際機関等によるダナン市への支援の期待や、海外から投資の呼び込み等に VLR を活用していきたい意向を述べられました。

(1) ダナン市の概要

人口	1,195,490人
面積	1,285km ²
海岸線	92km
病院数	22
商業施設数	79
開発総投資額	14億 USD
域内総生産	46億7千万 USD
域内総生産成長率	9-10%

(2) 持続可能な開発に関する現状及び目標

2017年5月10日に、ベトナム政府は「持続可能な開発のための2030アジェンダ」実施に向けた国家活動計画を策定し、169のSDGsのターゲットから、115のターゲットが選択されました。

ダナン市では、経済（貧困、農業開発など）、社会（ヘルスケア、教育、男女平等など）、環境（水資源管理、公衆衛生、林業、生物多様性など）の3つの分野でそれぞれ目標を設定しています。2045年までのビジョン（VISION 2045）では、ダナン市が生物多様性に富んだスマートシティとなり、アントレプレナーシップ（起業家精神）・イノベーション（ビジネスに新しい価値を生み出す変革）の中心地となり、アジアの魅力的な沿岸都市となることを目指します。特に海洋経済（経済や社会全体の持続可能な発展のため海洋を守りながら行う経済活動）、ハイテク産業、観光・高品質サービスの3つを柱として、5つの開発セクター（1.不動産やリゾートに関連する観光・高品質サービス、2.物流サービスに関連する港湾および空港、3.スマートシティやスタートアップに関連するハイテク産業、4.デジタル経済に関連する情報技術産業、5.ハイテク農水産業）の開発を進めていく方針としています。

ダナン市は持続可能な開発目標の進捗状況について、評価を実施しています。評価は高・中・低の3段階で実施されており、都市開発に関する58の目標のうち、35の目標で高評価（貧困世帯の割合など）、12の目標で中評価（1人あたりの所得など）、11の目標で低評価（1人あたりの緑地面積など）となっています。

(3) 横浜市との協力

2019年から2022年現在に焦点をあて、ダナン都市開発フォーラム等を例に挙げながら、固形廃棄物管理、環境配慮、港湾、都市公共交通、エコ工業団地、革新的な都市管理の分野において、横浜市と協力しつつダナン

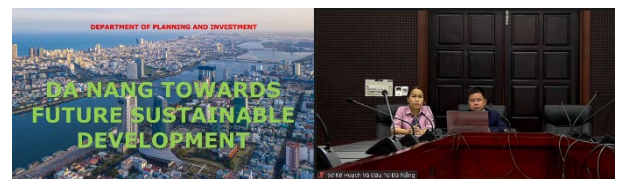
市の持続可能な開発を進めていることが発表されました。

(4) 投資機会

ベトナム国及びダナン市の持続可能な開発目標の達成に向けて、VLR策定、ハイテク産業、観光、貿易、教育、ヘルスケア、都市インフラ開発（鉄道など）、ハイテク農業等に海外からの積極的な投資を呼びかけました。



テーマ別セッション
(SDGs/VLR/ウェルビーイング指標)



ダナン市計画投資局副局長による発表

4. さいごに

アジア・スマートシティ会議の開催などを通して、経済・社会・環境的に持続可能な都市づくりに向けて都市間連携のさらなる強化を行うとともに、市内企業等の技術を活用した水環境、廃棄物管理、エネルギー分野等でのビジネス機会の一層の創出等支援を行ってまいります。

アジア諸国など、海外でのインフラビジネスにご関心のある企業の皆様は、ぜひご連絡ください。なお、今回のアジア・スマートシティ会議についての詳細な報告書は、Y-PORT ウェブサイトにて公開中です。(URL: <https://yport.city.yokohama.lg.jp/promotion/ascc>)

お問合せ先
横浜市国際局国際協力課
〒231-0005 横浜市中区本町6丁目
50番地の10市庁舎31階
Tel: 045-671-4703 Fax: 045-664-7145
E-mail: ki-yport@city.yokohama.jp